

## 附属学校最新情報紹介

学校名	奈良教育大学附属幼稚園		
役職	育友会会長	氏名	山本 智子
活動名	捨てちゃうものがステキに変身！～未来のためにアップサイクル～		

本園では毎年、育友会が主催し「子供たちと保護者の方々がじっくり触れ合い楽しむこと」を目的としたイベントを開催しております。また園では日頃より SDGs・ESD に積極的に取り組まれており、子供たちも私たち保護者もそれについてのお話を伺い学ぶ機会が多くあります。そこで今年度のイベントは、楽しく遊びながら SDGs をより身近なものとして捉えられる体験ができないかと考え、「アップサイクル」をテーマに廃材を利用したクラフトを企画しました。

奈良には老舗の皮製品を扱う会社が多数あり、中でも子供たちにもなじみの深いランドセルの製造会社にご協力を依頼したところ、快くランドセル生地 of 廃棄部分をゆずって頂くことができました。廃棄部分とは思えないほどの色とりどりで綺麗な皮生地をたくさん頂くことができ、長く使えるフォトフレームと、通園鞆やランドセルにもつけられるキーホルダーの二点を制作することにしました。

◇イベント当日は、まず初めに、子供たちにアップサイクルとは何かについて、分かりやすい言葉でスライドを用いて説明しました。

そして、ご協力頂いたランドセル会社ではどのようにランドセルが作られ、その過程でどうしても捨ててしまう部分が出てきてしまうこと、捨てられる部分をみんなの力で長く使える素敵なものに生まれ変わらせようというお話をしました。



◇生地を型に切ったり穴を開けたりという作業までは予めこちらで準備し、

- ① 好きな色の生地と、飾りのパーツを選ぶ
- ② フォトフレームは紐を通して、カシメ金具で止める、キーホルダーも金具を通してカシメ金具をつける
- ③ 生地に様々な模様の金型を押し当て、木槌で上から叩き模様を付ける

という三つの工程を子供たちに体験してもらいました。



子どもたちは色とりどりの生地や、初めて触れる道具に目を輝かせ、保護者の方と協力しながら少し難しい作業にも夢中で取り組んでいました。

子供たちからは「もっとやりたい!」「またやろうね!」という嬉しい声もたくさん聞かれ、保護者の方々からも、「捨てる部分を減らすということを親子共に意識していきたいと思った」「廃材から作ったとは思えないかわいい作品ができた」「子供がワクワクして何度も挑戦していた」等のご感想を頂きました。

アップサイクルを実体験することで、より SDGs にも興味関心をもち、自分事として捉える機会にもなったのではないかと思います。